

(株) ミクニに対し、 「DBJ環境格付」および「DBJ BCM格付」に基づく融資 を実施

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、株式会社ミクニ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：生田久貴、以下「当社」という。）に対し、「DBJ 環境格付」および「DBJ BCM 格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 環境格付」および「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度および防災・事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、四輪車・二輪車向け燃料供給システムや電動車向け製品等の自動車関連品を主力とし、ガス制御機器等の生活機器関連品なども製造・販売しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

【DBJ 環境格付】

- (1) ISO14001：2015 の移行審査を機に、これまで事業所に限定されていた EMS の対象範囲を全社ベースに広げている点
- (2) 多様な顧客ニーズに応えうる製品を設計・開発するために、環境配慮製品の視野を増加させるとともに、ライフサイクルでの環境負荷低減効果の把握に着手している点
- (3) サプライチェーンでの環境負荷低減を図るべく、電子制御製品のコンポーネントやセンサーの原材料などを、国内外の取引先と共同開発している点

【DBJ BCM 格付】

- (1) 災害発生時の従業員の帰宅参集を円滑にすべく、人事情報と連動させた地図システムを導入しているほか、拠点ごとの課題に応じた個別テーマでの防災訓練を実施するとともに、海外拠点を含むグループ全体で高度な防災体制を構築し、着実に PDCA を推進することにより災害リスクの低減を図っている点
- (2) 国内外において複数の生産拠点が分散している事業基盤を活かし、製品ごとに代替生産拠点を選定し重要な製品の供給を継続できる体制を整備するとともに、事業所ごとに復旧要員、電気・通信、情報システム等の経営資源を含む全 78 項目についてリスク対策状況の評価・進捗管理を実施し、ボトルネック解消などの不断の改善を図っている点

News Release

- (3) 全サプライヤーの BCP 策定率を把握するとともに、取引先会を通じた主要調達先の BCP 高度化支援に取り組み、また有事の被災状況について情報共有を行うリスク管理システムの整備を図る等、レジリエントなサプライチェーンの構築を計画的に進めている点

その結果、当社は、「環境への配慮に対する取り組みが十分」という格付に加え、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という格付も取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営や有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第2部 電話番号 03-3244-1694